

〔県民局だより〕

後継者の就農を迎えて農場移転した和牛繁殖農場

備中県民局農林水産事業部農畜産物生産課畜産第一班

一昨年 11 月、井原市美星町の渡辺牧場に J A 岡山西和牛改良部会長渡辺祐吉さんの長男、渡辺剛さん（33 才）が後継者として戻ってきました。今はまだ就農研修中ですが、これを機会に平成 21 年 9 月 5 日には美星町星田の自宅牛舎から美星町黒忠の J A 畜産育成牧場跡地へと移転しました。この牧場跡地には成牛舎の他にも哺育施設や飼料庫、たい肥舎なども完備していますが、老朽化が進んでいたため修繕や改修に力がいったそうです。監視舎には畳を入れるなど整備して、泊まり込みでの対応も可能としました。牛の搬入に先立ち井笠家畜保健衛生所による入念な牛舎消毒を実施してもらっています。



渡辺剛さんとご両親



移転後の渡辺牧場

剛さんは大学卒業後 8 年間、高齢者福祉業務に従事していましたが、父親や母親の和牛繁殖経営を見ていて、就農を希望するようになり、倉敷市玉島の自宅から父母が経営する美星の牧場に通うようになりました。昨年末には家畜人工授精師の講習会を受講し、この度の試験に合格しました。また、平成 21 年度の肉用牛入門講座を受講し、「県下の和牛繁殖の現状を学ぶとともに他の牧場の飼養管理状況を見学し、大変勉強になった。また、畜産協会や県の担当の方々と知り合うことができ、得るところが大きかった。」とのこと。現在、就農計画の作成中で、農業普及指導センターには親切に相談に乗っていただき、大変お世話になっていると感謝しておられました。

渡辺牧場では以前から、和牛繁殖経営の成否は飼料コストに負うところが大きいと、エコフィードの利用に積極的で、粕類や菓子製造クズを利用した自家配合飼料を主体として給与しており、河川の堤防野草の利用にも取り組んでみました。粕類利用で心配なのが繁殖障害ですが、経営診断で出してもらった分娩間隔は平成 19 年から 20 年にかけては 12.1 ヶ月、現在でも 13 ヶ月はオーバーしていないとのことなので心配はないようです。



子牛資質向上巡回指導



哺育舎

JA 岡山西では岡山和牛子牛資質向上巡回指導として、この農場においても全農岡山県本部、井笠家畜保健衛生所、井笠農業普及指導センター、備中県民局畜産第一班などと月1回の訪問指導を実施しているところです。

現状での問題点としては、農場に一般電話が引けていないこと。連絡には携帯電話で事足りていますが、FAX連絡や、インターネットでの情報収集に不便があります。ゆくゆくは発情発見システムや分娩監視システムも

導入したいところです。

今後は、自己有牛の飼養頭数を増やすとともに、自己有牛だけでは使い切れない大きな規模の哺育施設(7頭×4列=28房)を活用して地域の哺育牛や育成牛の預託にも対応していただきたい。また、自宅牛舎で飼育していた時には周辺の山や耕作放棄地での放牧も行っていたのですが、こちらの牧場に移ってからは新たな放牧地が見つからず、放牧は中止しています。放牧利用できる適当な場所を探し出して、耕作放棄地の解消にも貢献していただきたいところです。剛さんには他の農場もたくさん見ていただき、参考となるところは取り入れて、立派な牛飼いになっていただきたいと願っております。まずは岡山四ッ星子牛の適合率を上げていただくことから始めて、優秀農家表彰がもらえるようになればいいですね。また、人工授精に自信がいたら開業授精師として、地域の和牛増頭のためにも是非とも頑張っていたきたいと期待しております。

【経営計画】

| | 移転前 | | 移転後 |
|---------|----------|---|-------------------------------|
| 牛舎の収容能力 | 55頭 | → | 100頭 |
| 経営規模 | 繁殖和牛 | → | 50頭 |
| | 育成牛・子牛 | → | 50頭 |
| 飼料基盤 | 飼料畑 50a | → | 90a |
| 労働力 | 父親、母親の2人 | → | 父親、母親、本人の3人 (奥さんは倉敷市内にお勤め) |